

参考文献表

和書の場合

著者名（苗字＋個人名）＋『書名』＋出版社名＋刊行年。

（例）伊藤貞夫『古典期のポリス社会』岩波書店、1981年。

シリーズ本の場合

著者名（苗字＋個人名）＋『書名』＋（シリーズ名）＋出版社名＋刊行年。

（例）桜井万里子『古代ギリシアの女たち』（中公新書）中央公論社、1992年。

邦語論文の場合

著者名（苗字＋個人名）＋「論文名」＋『雑誌名』＋巻号数＋刊行年＋ページ数。

（例）伊藤貞夫「ラウレイオン銀山における鉱山採掘権の問題」『史学雑誌』68-8、1959年、1-28頁。

書籍収録の論文の場合

著者名（苗字＋個人名）＋「論文名」＋（編集者名＋編（または共編）＋『書籍名』＋出版社）＋刊行年＋ページ数。

（例）太田信幸「VIRI MILITARES とは何か―属州ブリタンニア総督を手掛かりとして」（浅香正監修『増補改訂版 ローマと地中海世界の展開』晃洋書房）、2003年、100-115頁。

文献表の順

著者名のアイウエオ順で文献を並べる。

同一著者の場合は執筆年代順に並べる。

エクセルを使用すると便利

ポイントは最初に平仮名による読みと著者名の後に刊行年を入れること。

エクセルは馬場の馬を「ば」と読まず、桜井の桜を「さくら」と読まずに語順を狂わせません。そのために名前を最初ひらがな表記し、その後に漢字表記しておくとう便利です。

同一著者の場合

最初のみ著者名を書き、二つ目以降は「同」で省略する。

（例）

桜井万里子、1992、『古代ギリシアの女たち』（中公新書）、中央公論社。

同、1997、『ソクラテスの隣人たち』、山川出版社。

周藤芳幸、1987、「いわゆるミニュアス土器とギリシア本土の中期青銅器文化成立期をめぐる諸問題」『古代文化』39-8、1-18頁。

同、1991、「遺跡のトポグラフィに基づくミケーネ社会像の再検討―アルゴス平野の場合」『史学雑誌』100-6、1-37頁。

橋場弦、1993、『アテナイ公職弾劾制度の研究』、東京大学出版会。

同、1997、『丘の上の民主政』、東京大学出版会。